

## 重要取組シート

会計室

取組項目		財務会計システムの再構築の推進
現状・課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 現行システムは平成 22 年 4 月から運用を開始し、今年度で 11 年目となるが、これまで大規模なシステム障害は発生しておらず、安定的に稼働している。</li> <li>• 現行システムのサポートが令和 7 年 3 月末で終了する。</li> <li>• 職員情報システムなど他の内部行政システムとの連携などによる効果的な取組みの可否の検討が必要である。</li> <li>• 新たな ICT 技術や機能の将来的導入を見据え、開発を行う必要がある。</li> </ul>
取組の内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 財務会計システム業務所管課及び各局(区)総務担当課等への機能要望の調査及び各政令市への財務会計システム運用管理状況の照会を行い、これらを参考に強化又は付加すべき機能の整理と決定を行う。</li> <li>• ICT イノベーション推進室と情報共有及び連携を行いながら、他の内部行政システムとの連携やシステムサーバのクラウド化など業務改善につながる効果的な取組みを検討する。</li> <li>• 各システム事業者からシステムの機能情報と概算見積を得て調達方法の決定と次年度の開発予算の要求を行う。</li> <li>• 開発受託事業者の選定に向けた仕様の整理を行う。</li> </ul>
スケジュール	前期 (~7月)	<input type="checkbox"/> 現行システムの課題整理と新システムで強化又は付加すべき機能の整理、職員情報システムとの連携方針の確認(4月~5月) <input type="checkbox"/> 財務会計システム業務所管課及び各局(区)総務担当課等へのヒアリング、機能要望集約(5月~6月) <input type="checkbox"/> 各システム事業者から概算見積書及び機能情報を取得(7月~8月)
	中期 (~11月)	<input type="checkbox"/> 各システム事業者からの見積書や提供情報を基に、強化又は付加すべき機能の内容を決定(8月) <input type="checkbox"/> 開発受託事業者の選定方法の決定、調達計画書作成(8月~10月) <input type="checkbox"/> 概算見積に基づく当初予算要求(9月~10月) <input type="checkbox"/> 委託範囲及び仕様書内容の調整(11月~3月)
	後期 (~3月)	<input type="checkbox"/> 提案書作成要領及び選定基準等の調整(1月~3月)
	次年度以降	<input type="checkbox"/> 開発受託事業者選定(令和4年5月~9月) <input type="checkbox"/> 開発受託事業者との契約(令和4年9月) <input type="checkbox"/> 開発業務(令和4年9月~令和7年度中)(※) <input type="checkbox"/> 新システムの一部稼働開始(令和6年4月から段階的に稼働開始。)(※) ※ 開発業務及びシステムの稼働は、業務区分ごとに順次行っていきます。

進捗の状況	前期 (~7月)	□ 職員情報システムとの連携方針の確認 (5月)	
	中期 (~11月)	<input type="checkbox"/> 政令市会計事務主管者会議の照会 (7月~11月) <input type="checkbox"/> 政令市システム所管の各システム事業者のパッケージ機能聴取 (7月~9月) <input type="checkbox"/> 機能要件一覧の整理 (8月~) <input type="checkbox"/> 事業者の概算見積の徴取 (11月)	
	後期 (~3月)	<input type="checkbox"/> 機能要件一覧の整理 (継続して取組中) <input type="checkbox"/> 政令市システム所管の各システム事業者に必要な工期等を聴取 (12月)	
2025 堺市基本計画	該当する 施策	—	
	寄与する KPI	—	目標値 (2025年度) —
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 —	—
	寄与する KPI	—	目標値 (2023年度) —